

ロータリー米山記念奨学金学生の推薦にあたって

奨学厚生課

本奨学財団は、毎年大学担当者向けの説明会を開催しており、説明会にて選考にあたっての注意事項等案内がありましたので、以下にまとめております。応募にあたっては、学生だけでなく、指導教員にも趣旨をご理解いただきますようお願いいたします。

<推薦>

以下に該当する学生の推薦は控えてください。

- ①4月のオリエンテーションに参加できない方
- ②長期の留学・調査等により行事に参加できないことが決まっている方
- ③奨学金は受給したいが、行事には参加したくない方
- ④地区のロータリークラブに通えない方
- ⑤学業不振、単位不足により留年のおそれがある方
- ⑥授業料滞納、学業不振等により退学のおそれがある方
- ⑦国費、母国奨学金、他奨学金に申請しロータリーを辞退する可能性がある方
- ⑧卒業後つながりを持ち続けることができない方

<応募書類>

- ① 月1回以上の定例会への出席が奨学生の義務だということを、学生・指導教員共に認識しておいてください（やむを得ない欠席の場合は、文書による理由書の提出を求めている）。定例会で奨学金を手渡しします。交流行事に積極的に参加できる学生を採用するとのことです。つながりを重視し、奨学生を育てることに力を入れてくださっています。これらの交流を通じて成長しようとする努力をすることができる者を採用されたいとのことです。なお、行事等について、必須ではありませんが指導教員に対しても参加依頼があります。
- ② 成績や経済状況が優先ではありません。志望動機や推薦状に経済的に困窮していると書くケースが見られますが、経済状況は考慮されません。応募者の長所や短所といった、人柄が分かるような事項を記載してください。
- ③ 申請書は必ず日本語で本人が手書きしてください（生成AI 使用禁止）。申請書の文字の巧拙も審査対象となります。
- ④ 研究計画書には、自分の学んでいること、研究していることをどう社会に役立てたいかを書いてください。専門外の方にもわかるように書いてください。
- ⑤ 推薦状は必ず指導教員が作成してください。学部生などで指導教員が決まっていない場合はそれに準ずる方、指導的立場の方が作成してください。以前、面接において、推薦

状を書いてくれた先生との関係を聞いたところ「あまりよくわからない」との回答があり困惑したケースがあるとのことでした。

<面接>

- ① 今年の面接は、2025年12月8日（月）9：00-15：00に開催される予定です。
（申請者全員）
- ② 人柄（誠実さ、身だしなみ、態度）が大きく考慮されます。面接は受付から始まっています。過去には、受付の態度が悪く不採用となったケースもあったそうです。
- ③ 過去に、面接時における自己アピールとして、自分の作品や研究成果など持ってくる学生がいたが、専門性が感じられて大変面白かった、との意見がありました。誰にでもわかりやすい説明をすることが高評価につながるようです。
- ④ ロータリー米山記念奨学財団がどのような財団なのか面接で聞かれることもあります。財団についてある程度の知識を備えて面接に臨んでください。ただし、ロータリーに関する知識を覚えるのではなく、ロータリーの事業の趣旨を理解することが重要です。
- ⑤ 日本語が全く話せないと難しいとのことですが、よりコミュニケーション能力を重視されています。

<採用後の注意事項>

- ・第2750 地区のオリエンテーションは、**2026年4月12日（日）**に開催される予定です。
- ・また年間、日帰り旅行・昼食会・修了式など数回のイベントがあります。
採用された場合、これらのイベントへは参加必須となります。

<主な年間行事予定（参加できない学生の推薦不可）>

2026年（具体的な日付は未定）

- 4月上旬 オリエンテーション
- 5月下旬 懇親会
- 8月上旬 夏の懇親会
- 10月下旬 研修旅行
- 12月上旬 懇親会